

## 第5回 三重県立白山高等学校 「学校運営協議会」概要

平成29年10月20日（金）

於：白山高等学校 会議室

### 1 あいさつ

#### ・ 白山高等学校長

本日はお天気の悪い中、またお仕事でお疲れのところ、学校運営協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。本日は第1回の時にお示しいたしました学校マネジメントシートにしたがって、白山高等学校の取組の進捗状況を報告させていただき、それに対して、御意見を頂戴して、より良い取組に改善していくということで開催しています。皆さんから忌憚のない御意見をお願いしたいと思います。

さて、いくつか御報告を申し上げることがあります。学校活性化協議会では、「白山高等学校が将来に向かってより活性化していくためには、かつての白山高等学校の良くないイメージを払拭する必要がある。中学生や中学校の先生方はよくないイメージは持つてはいないようだが、中学生の保護者やその祖父母の年代の方が今も良くないイメージを持ったままの可能性もある。そこで、白山高等学校がどのような教育活動をしているのか、どれほど安全で安心な学習環境を保障できているのか、このあたりについて情報発信をしていくことが必要ではないか。」という御意見をいただきました。そこで、様々なところに現在の白山高等学校の情報を提供させていただいているところです。その中で、この度中日新聞で本校の制服が約30年ぶりに新しくなるという記事を取り上げていただきました。また、今度の日曜日にある高校生活入門講座でも、本校を志望する中学生の皆さんが高校の授業を体験することが予定されていますが、この様子をZTVが取材してくれるという連絡を頂戴しています。メディアに現在の白山高等学校の状況を発信することで、かつてのイメージを払拭できるのではと期待しているところです。

また、本校のマネジメントシートにもありますように、学校運営協議会にどのような形で支援していただけるのかということについて、具体的な支援が1つ得られましたことを御報告いたします。本日、お仕事の都合で欠席なのですが、津市商工会から長期インターンシップの受入事業所の紹介ということで、青山事務局長がJR一志駅周辺で長期インターンシップを受け入れていただけそうな事業所に、連絡を取っていただきました。受け入れてもらえる可能性がある事業所に、アポイントメントを入れていただくという御協力をいただき、本日も担当の教務主任と一緒にお願いに行ってきたところです。昨年度に引き続き、このように学校運営協議会の委員から、具体的・直接的に御支援をいただくという成果も得られています。今後も本校の教育活動により一層の御支援をお願いしたいと考えています。本日は中間評価ということで、様々なこととお話させていただくと思いますが、御意見をよろしくお願ひいたします。

#### ・ 三重県教育委員会（宇陀指導主事）

皆さん、お疲れのところありがとうございます。私事ですが小学校時代に夏休みにはよく雲出川で遊ばせていただきましたので、御縁のある地域だと思っています。本日は橋本の代理ですが、この会議に出席させてもらって光栄に思っています。先程より長期インターンシップの受入事業所の紹介を得たとお話もありましたが、白山高校弓道部が個人優勝、野球部が3回戦進出、茶道部の北畠神社での活躍、吹奏楽部の慰問演奏会など、白山高校が地域としっかり手を携えて活

躍しているのも、地域の御支援と御協力があつてのことだと思っています。

また、来年度は創立60周年を迎えられ、それを機に制服を一新されるということです。さらには、平成30年度より入学生の教育課程の普通科を普通類型と福祉類型の2類型への改編ということも聞いています。国の方の動きといたしましても、本年度中に新しい学習指導要領の改定があり、平成34年度からの年度進行で、改定が進んでいきます。このような教育の転換期にあたり、白山高校もぬかりなく新しい取組に踏み出していくことに期待しているところです。引き続き、地域の皆さまの御支援と御協力をお願いしたいと思います。

## 2 報告事項

- ・ 第5回学校運営協議会を始めるに当たって、今まで開催した各部会（テーマ別）の会議概要について、確認いたします。第2回、第3回、第4回の会議概要についてです。
- ・ 第2回は5月13日（土）に2・3・4限に公開授業をいたしました。昨年度と比べて教室がかなりきれいになったことや生徒が落ち着いていて良かったなど、学習環境や生徒の様子が良くなっているという感想をいただきました。また、先生方はいろいろ工夫をして授業をやっているのが良いなど、授業改善の取組について一定の評価をいただきました。授業では生徒の発言が多いのに驚いたなど、生徒の主体的・積極的な学習状況に驚かれたとの感想もいただきました。基礎学力をいかに身に付けさせるかは本校の今後の課題です。授業のユニバーサルデザイン化ということで、誰が授業しても同じような段取りで進んでいけるように検討をしていきたいと考えています。また、教科書類が散乱しているクラスもあり、きちんと整理整頓ができない生徒もいるとのことですが、いかに整理させるかが、ここ数年の課題になっています。1年生を2つに分けて授業を行うようになって子どもたちが落ち着いてきているなど、1年生については、ほとんどのクラスを分割あるいはTTで授業を行っていることに、一定の評価が得られたのではないかと考えています。全校集会でも生徒の集合が早くなり、時間が余るようなこともあります。また、朝学も一定の効果が出ているとの御意見もありました。保護者の白山高校へのイメージの払拭については、御挨拶の中でもあったかと思えます。
- ・ 第3回は6月11日（日）にあった南家城地区クリーン作戦の後、開催させていただきました。部活動で一生懸命頑張っている生徒が、地域のゴミ拾いを行い、それが地域の活性化につながっていることや生徒の規範意識を身に付けさせることになっていると校長の挨拶の中にもありました。約110名が地域活動に参加しましたが、昨年度も100名を超える参加がありました。学校全体の雰囲気が変わってきていることを実感したとの御意見もありました。クリーン作戦の活動風景を白山町の広報にという御意見には、さっそく対応させていただきました。生徒の感想の中には、「この活動は自分のためにもなり、成長にもつながっている。地域のためにもなっている。」との感想もありました。以前は50人程度しか集まらなかったのに、最近は当たり前のように生徒が集まっているとのこと。各部活動では、この日はクリーン作戦の日ということで予定を入れてくれているものと思われます。地域交流ということで、家城小学校の児童を対象にパソコン教室を開催したり、家城地区文化祭などには茶道部と吹奏楽部が参加を予定しています。10月30日（月）には家城小学校の遠足で「家城地区を知ろう」ということで児童たちが本校を訪れます。本校の敷地内にも、クイズポイントの設置が依頼されています。

- ・ 第4回は校長の挨拶の中でもありましたように、学校正門の右側にある弓道部のインターハイ出場の横断幕のことや高校野球ベスト16位のことなどが話題となりました。また、キャリア教育部会ということで就業体験の様子を御覧いただきました。また、「白山高校の活性化プラン」も報告させていただきました。「指定校」が「対象校」になるなど、学校運営協議会に関する県規則の一部改定と会則の一部改正案についても協議していただきました。県規則の改定に伴いまして、本校の会則の改正を行ったところです。長期インターンシップの見学では、やまちょう、消防署、ニチリン、岩協作業所、白山市民会館、レストランみそのなど、見学に行きました。ニチリンと白山市民会館、レストランみそのは、今年度からの新規受入事業所です。事業所も名松線を利用して、関ノ宮駅がある川口地区まで拡大しています。地域としても生徒が学校内だけではなく、地域社会の中に入ること、地域の活性化につながっているという意見もありました。また、若い人たちの離職の傾向とその原因の2つについての御意見もいただきました。

### 3 協議事項

#### (1) 各種アンケート調査について

- ・ 本日までの間に白山高等学校では、生徒・保護者・教職員に対してアンケートを行いました。様々な内容について質問をしていますが、ここでは主なものを取り上げ、御報告いたします。
- ・ 生徒向けアンケートについては、たくさんの質問項目の中で、次の4つについて毎年比較しています。「1日の携帯電話やスマートフォンを使う時間」は、「3時間以上」が43%と最も多く、40%→42%→43%と増えてきているところが気になります。「白山高校に入学してよかったか」については、「まあそう思う」が50%と昨年度より減少、「あまりそう思わない」が17%と昨年度より増加しています。原因は分析できていない状況です。「遅刻をしないなど、時間を守ることができているか」には、「よくできている」が54%と昨年度より増加しています。「だいたいできている」が、「よくできている」にシフトしたものと考えています。「学校のルールを守っているか」には、「守っている」が45%と昨年度より増加しています。「あまり守っていない」や「ほとんど守っていない」からシフトしたものと考えています。「白山高校の『地域を愛し、地域を活性化する生徒の育成を目指す』の活動を知っているか」には、「よく知っている」が減少してきているのが気になっています。
- ・ 保護者アンケートについてです。「子どもが学校生活でもっとも意欲的に取り組めるもの」は、「部活動など」で、次が「学校行事」となっています。特に部活動はよく頑張っていると思います。「白山高校の教育に期待するもの」は、「基礎学力保障」と「就職指導・保障」の割合が大きい状況です。「白山高校に入学させて良かったか」には、「あまりそう思わない」が多くなっていますが、見方によっては「ぜんぜんそう思わない」から移動しているものとも考えられます。
- ・ 教職員アンケートについてです。本校が価値を提供する相手と連携する際、連携する相手（保護者・中学校・地域）への要望・期待について、回答してくださいというものです。「保護者（家庭）に要望・期待することは何ですか」については、「基本的な生活習慣の確立に向けた指導」が90.6%となっており、昨年度も今年度も90%です。「中学校に要望・期待することは何ですか」については、「基礎的な学力の定着」が昨年度の倍になっています。「地域に

要望・期待することは何ですか」については、「学校教育への参画・支援」が昨年度は54.5%ですが、今年度は28.1%と減少していますが、教職員は支援を実感しているのではないかと思います。「通学時の安全確保への協力」については、大幅に増加しています。

- 学校運営協議会の委員へのアンケートについてです。昨年度初めて実施したアンケート調査です。学校マネジメントシートにありますように、連携する相手として地域がある訳ですが、昨年度まで地域を対象とするアンケート調査は実施しておりませんでした。そこで、昨年度から地域を代表する委員の皆さまのお声をいただき、学校運営に生かして行きたいと考えているところです。次回の会議の御案内の封筒の中に同封させていただいていますので、御面倒をお掛けしますが、本日お帰りになるまでに御記入いただき、事務局まで御提出ください。時間的に難しい場合には、FAXでも構いませんのでよろしくお願いいたします。
- 学校運営協議会の委員へのアンケートについて御説明させていただきます。各設問について、積極的に肯定される場合は①を、消極的にはあるが肯定される場合は②を、消極的にはあるが否定される場合は③を、積極的に否定される場合は④を選択してください。このような観点でお答えいただきたいと思います。なお、設問9については学校運営協議会委員として、白山高等学校に対して、現在最も求めていることを、設問10については白山高等学校が、地域と「連携」するために、最も必要なことをお書きください。
- ありがとうございます。昨年度から実施しています「学校運営協議会委員アンケート」について、次回の御案内の封筒に同封していただいていますので、御面倒をお掛けしますが、先程事務局からもお願いがありましたので、本日お帰りになるまでに、よろしくお願いいたします。それでは、白山高等学校の各種アンケート結果について、説明していただきましたが、いかがでしょうか。
- アンケート結果については、概ね大きな変動はないのかなと思いました。裏を返せば、何も変わっていないとも言えるのではないのでしょうか。ところで、保護者とのコミュニケーションが取れていないのかなという気がしています。特に、一般の保護者とのコミュニケーションが取れていないのではないかと心配しています。何かコミュニケーションが取れるようなものがあればと思うのですが、いかがなものでしょうか。
- 今、御指摘があったことについては、どうしても担任の先生以外は難しいものがあります。今年度の1年生の担任団は、夏の三者懇に加えて、4月から夏休みが終わるまでの期間で、全ての生徒の自宅を家庭訪問をすることができました。1歩前進なのかなということで、ここで紹介させていただきます。それから変わっていないというのが、圧倒的に多いという御指摘はその通りだと思います。原因がわかっていないのですが数字が変化しているのがあり、それは1年生の回答の影響が大きいのかなと分析しています。本年度入学の1年生は、全体としてかなり落ち着いていると思います。いわゆる触法行為がほとんどありません。学校不適應の生徒も例年に比べると少ないと思われます。1年生については比較的いわゆる規範意識の高い生徒が入学してくれている可能性があります。とは言うもののトラブルがないわけではありません。1つの中学校から本当に少ない人数の生徒が来てくれているところもあり、全く人間関係のないところから人間関係の構築をするストレスがあり、小さいトラブルはたくさん起きている状況です。このようなことは、例年より多いのではないかと想像しています。個としては規範意

識は高いものの、人間関係の構築に時間のかかる生徒が多く入学しているかもしれないということが考えられます。ここ数ヶ月の生徒指導部からの報告からも、昨年度とは問題行動の質が全然違うようです。今までとは若干タイプの違う生徒が入学していて、その子どもたちが人間関係の構築にとまどっているのではないかと考えています。

- ・ スマートフォンの使用が、3時間は長すぎませんか。
- ・ ものすごく長いと思います。スマートフォンがおもちゃになっている状況があると思います。県教育委員会の取組でも「スマートフォンの使い方を考えましょう」ということになっています。本校の生徒たちもスマホサミットに出席をして意見交換をしているのですが、改善は難しい状況です。意識の高い生徒はそんなことを考えてくれているのですが、全体として本校に限らず大きな課題だと言えます。スマホを持っている者を四六時中、見張ることはできないので、御家庭の教育に期待したいと思っています。
- ・ 私の孫は小学校6年から中学校2年までインドネシアにいましたが、携帯電話は一切使わないという約束で日本に来ました。ですので、インドネシアに帰るまでは、一切持たせませんでした。
- ・ 例えば、昨今であれば、子どもに持たせないと安否が心配という保護者もみえます。私は、個人的には必要はないと思っていますが、必要だと考える保護者を止めることはできません。考えの分かれるところかなと思います。
- ・ 親御さんは、全然注意しないのでしょうかね。
- ・ 子どもと友だちとのつながりを切りたくないのに、返事をしなかったりしたら友だちと気まぐずなくなってしまうために、保護者も必要だと考えています。今の時代、友だちとのつきあいがあるので必要だと言うのですが、親の言うことを聞いてもらえないところもあります。
- ・ イギリスでは中学3年生までは持たせないという法律があるのですがね。日本では食事中に親子3人ともスマートフォンを使っていて、会話がなくびっくりしました。こんな状況なら、社会性は育たないと思います。
- ・ おっしゃるとおりだと思います。御家庭の方針や保護者の考え方というのが強いのかなと思います。我が家も高校生になって初めてスマートフォンを与えたのですが、帰ってきたら位置に置かせ、部屋に持って行くのはまかりならぬということでやっていました。誰かから連絡が来ても知らない状況でした。保護者の考え方次第です。コミュニケーションツールとして必要でスマートフォンで支え合っているという考え方の家庭もあり、その価値観を否定することはできないので、御家庭に任せるしかないと思います。そんなことを考えるきっかけにするために、スマホサミットに参加してもらったということもあります。
- ・ 美杉中学では中学3年生はスマートフォンを100%持っており、全国学習状況調査で全国平均より高くなっています。友だちとのつながりの中で、美杉中学は過疎化で隣近所に友だちはいないので遊びに行けない状況もあり、スマートフォンでつながっているところもあります。やはり長時間使うことは望ましくありませんし、また、そういう指導も行っていますが、現状では今の子どもは田舎でも長時間使用していることを実感しています。
- ・ 生徒自身が「使い過ぎてはいけないな」、「のめりこんではダメだな」と知りながら使っていると思います。使うことに対して考えることを指導としてやる必要があると思います。「ス

スマートフォンの使い方を考えてみよう」などと考えさせる取組をやるか、やらないかで全然違うと思います。

- ・ 中学校のアンケートの中で分かったことですが、スマートフォンの使う時間とテスト結果の関連について、やはり使っていない方がテストの点は高いという結果になっています。きれいにテストの点数に表れています。そのことを生徒には伝えているのですが、なかなか難しい状況です。生徒に考えさせながら、指導をしています。
- ・ 白山高校で高3の息子がお世話になっています。「使い方を間違えるなよ」ということは言っています。情報コミュニケーションツールと位置づけて、与えています。歴史の人物を調べる等の時に、携帯で調べなさいという使い方もあると思います。100%悪ではないと思いますので、使い方なのかなと思っています。宿題で漢字のわからない時に調べたりするなど、便利ツールの1つと考えてはどうでしょうか。子供たちの使い方の中身を知りたいと思っています。
- ・ 私は今でも持っていないです。孫が来た時にも困った様子がなかったです。孫には「目が悪くなるよ。電磁波の影響でこれから先、困ることになるよ。日本に来たいなら、使用はダメ。」ということで持って来なかったです。
- ・ ラインに既読が付かないと、友達から嫌われることを気にする。分かっているけれど、止められない状況になる。そして、どうしても長時間になる。生徒の性格もあるとは思いますが、きちんとできている生徒もいます。一人ひとり、丁寧に見ていかないといけないと思います。ルール作りも大切であることを認識する必要があると思います。
- ・ やはりSNSですね。子供たちがかわいそうに思う時があります。SNSのグループ中に入っていないと居づらいこともあるようです。また、たとえば、部活動の連絡など便利さもあるとは思いますが。みんなで考えないといけないことだと思います。
- ・ 自分中心で、相手がどんな状況かが見えていないと思います。お風呂に入っているとか、寝ているとか、相手のことを考えることも大切だと思います。
- ・ 各アンケートで挨拶、遅刻、規範意識等で肯定的な結果が返ってきています。理由についてはどうだったのか。肯定的な結果が2年生は低いような気がします。昨年度の2年生に比べてどうなのかが気になります。アンケートに「理由を書きなさい」という項目が必要ではないかと思っています。美杉中学校でも同じようなアンケートをしています。「美杉中学校に入学してよかったですか」については理由を書かせています。理由を書くとなしやすくないかと思っています。
- ・ アンケートへのアドバイス、ありがとうございました。
- ・ アンケートの様子から、2年生の中だるみが影響しているのではないかと思います。
- ・ スマートフォンの使用時間も、2年生は多いですね。これもアンケートに影響していると思います。
- ・ いろいろな御意見をいただきました。ありがとうございました。今後の学校の取組に生かしていただければと思います。よろしくお願いします。

## (2) 自己評価（中間報告）について

- ・ 今年も年度末には、委員の皆さまに学校としての自己評価について、御意見をいただくこと

になりますが、本日は、その中間報告をさせていただきます。本校の学校マネジメントシートには、年度当初に御承認いただいたように、目指す姿や目指す学校像として「地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する学校」を目指す学校像としています。現状認識にある「学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待」については生徒、保護者、地域からのものとなっています。「連携する相手と連携するうえでの要望・期待」ですが、連携する相手からの「相手」は家庭、中学校、地域からで、連携する相手への「相手」は保護者、中学校、地域です。その後で、前年度の学校関係者評価等、現状と課題となっています。目指す学校像実現のために、3つの中長期的な重点目標を設定しております。それが、中期ビジョンとなります。また、本年度の行動計画として、それぞれ細かな取組内容と指標を策定し、取り組んで参りましたが、本日、その中間報告をさせていただくこととなります。まず学校全体の説明をしてから、それぞれの担当から説明をさせていただきます。今後、年度末に向けて、各取組の改善課題を検討して、次年度に向けた改善策に生かしていきたいと考えています。まだ先の話とはなりますが、最終的な学校評価は年度末になり、委員の皆さまの御意見をいただいた後、再度、校内で整理をして白山高等学校のホームページにおいて公開する予定です。

- ・ 「確かな学力と規範意識の育成」ですが取組内容・指標にある活動指標は「ワンウイークトライアル」を活用した授業の実施回数で各教科8回以上となっていますが、結果は9月末で活動指標は合計7回実施となっています。成果指標は基礎学力診断テストの学習到達ゾーンを1ゾーン以上向上させる生徒の割合で30%以上となっています。結果については、12月に基礎力診断テストの実施後に明らかになります。週末課題の実施回数9回以上では、結果が1学期末で活動指標が9回となっています。また、成果指標の校内一般常識テストの平均得点率40%以上については、結果の成果指標が51.0%となっています。遅刻の登校指導実施率は100%で、成果指標は前年度比10%減ですが、成果指標は1学期末で26%減となっています。
- ・ 「地域とともにある学校づくりの推進」では、学校運営協議会の活動指標が開催回数年間7回以上で、成果指標は具体的な支援件数年間3件以上に対して、9月末で活動指標が4回、成果指標は訂正で1件となります。キャリア教育の推進と進路指導の改善の活動指標が事業所訪問年間70件以上、成果指標が10月末現在の就職内定率80%以上に対して、9月末で活動指標が29社、成果指標が69.4%になっています。
- ・ 「生徒のための教職員組織づくりの推進」では、各種アンケート実施回数年間10回以上、成果指標の改善活動年間3件以上に対して、9月末で活動指標が7回実施、成果指標が1件となっています。校内研修の実施回数年間5回以上については9月末で6回実施していて、成果指標の校内研修における教職員満足度80%以上についても平均89.3%となっています。9月末での定時退校できた教職員の割合が81.9%、部活動休養日に休養できた部活動は76.5%、60分以内に終了できた会議の割合は44.5%でした。また1人あたりの月平均時間外労働時間前年度比は33.2%減、1人あたりの年間休暇取得日数前年度比は3日増となっています。
- ・ 次に各校務分掌の担当より、順次、御説明させていただきます。資料を御覧ください。この資料が、学校マネジメントシートの導入による改訂された本年度からの様式で、分掌マネジメ

ントシートとなっています。それでは、この分掌マネジメントシートにおける各校務分掌の「本年度の重点的な取組と評価」について、資料の順番に、総務部、教務部、生徒指導部、進路指導部の順でお願いします。本日、出席していない分掌と各学年については、教頭より、御報告させていただきます。

- 総務部です。人権啓発紙「human rights」により、生徒の人権意識を向上させるとなっています。活動指標が年10回以上「human rights」を発行するで、9月末で8回発行しています。80%以上の生徒の人権意識を向上させるについては、年度末に確認する予定です。図書館で本に親しむことができる取組を行いますとあり、目標は広報発行・企画展示が年10回以上、図書館イベントが年3回実施、貸出者数・貸出冊数の10%増加(昨年度:貸出者数175人、貸出冊数1559冊)となっています。これに対しては、広報発行・企画展示が4回、図書館イベント1回、貸出者数52人、貸出冊数865冊となりました。学校運営等では、生徒の多様なニーズにきめ細かく対応するために、各種アンケートを実施し、積極的に情報を収集して改善に取り組むとあります。各種アンケートの実施回数が年間10回以上、アンケート結果を踏まえた改善活動年間3件以上に対して、9月末でアンケートは7回実施して改善活動は1件となっています。教職員の人材育成を図るとともに、業務の改善及び効率化を推進するため、校内研修(OJT)の実施に取り組むとありますが、校内研修の実施回数年間5回以上と校内研修における職員満足度80%以上に対して、9月末で6回校内研修を実施して、職員満足度が平均89.3%となっています。
- 教務部です。目標を3学年の長期インターンシップを通じて、働く意義、礼儀やマナーを学び、さまざまな世代の人たちとのコミュニケーション能力を高めますとしています。そこで事業所訪問が2回以上、新規開拓事業所数2事業所以上と活動指標を定め、9月末で事業所訪問は1回実施していますが、事業所アンケートについては年度末の実施となります。
- 生徒指導部です。目標を生徒の基本的な生活習慣を確立するとともに、規範意識・社会性を育成するために、登校遅刻・授業遅刻の防止に取り組みますとしています。登校指導は実施率100%、遅刻は前年度比10%減に対して、1学期末で100%実施して、26%減少となりました。登校遅刻423件(H28)が263件(H29)となり、授業遅刻381件(H28)が332件(H29)となっています。生徒の学校生活を注視し、いじめの早期認知に取り組むことについては、いじめアンケートを学期に1回実施、重大事案になる前に早期に認知でき、対策できた件数5件以上に対して、9月末でアンケートは2回実施、件数は3件となっています。地域美化のために、毎朝生徒会役員及び生徒会顧問で地域のゴミ拾いを実施することについては、ゴミ拾い実施率100%に対して1学期末で100%となっています。
- 進路指導部です。目標を卒業生が地域に定着して地域の活性化に貢献するために、地元事業所を積極的に訪問して企業のニーズを把握し、キャリア教育の推進、進路指導の改善に取り組みますとしています。指標の生徒の主な通学圏にある事業所訪問が年間70件以上、10月末現在の就職内定率80%以上に対して、9月末で事業所訪問が29社、就職内定率が69.4%となっています。地域の教育力を活用したキャリア教育の充実を図り、生徒の進路希望の実現を支援することについては、外部講師や地域の人材を活用したキャリア教育実践が8件以上、卒業時の進路内定率100%に対して、9月末現在は6件となっています。卒業時の進路内定率はまだ確

定していません。

- ・ 保健部の自他を大切に、命を大切にすることを育むために、講演・授業を実施することについては、講演会・授業等の年2回以上実施に対して、9月末で8回実施しています。困難な状況にある生徒を支援するために、関係機関とも共同した教職員の組織づくりを実施することについては、特別支援教育推進委員会、ケース会議等の学期に1回以上の実施に対して、9月末で特別支援教育推進委員会2回、ケース会議4回の実施となっています。
- ・ 1学年の家庭訪問を通じて保護者との連携を図り、生徒が意欲的に学校生活を送ることができるようにすることについては、家庭訪問を通じての保護者面談1回以上、高校生活に意欲が持てず進路変更など行う生徒10人以内に対して、9月末で保護者面談を1回以上実施して、進路変更した生徒は0人となっています。
- ・ 2学年の夏休みに実施するインターンシップの内容充実に向けて、事前指導・事後指導の充実及び担任指導時間の確保を図る取組では、事前指導及び事後指導を10時間以上、担任指導時間生徒一人につき10分以上を活動指標として、9月末で、事前・事後指導6時間、個別指導10分以上となっています。進路希望調査で進路目標が明確化した生徒を60%以上にするでは、31.5%が明確化しました。
- ・ 3学年の様々な課題のある生徒に積極的に対応するため、定期的に担任団会議を開催して情報を共有するとともに、具体的な対応策について検討することについては、担任団会議の開催が10回以上と学習意欲の欠如に起因する中途退学者2人以下に対して、9月末で会議は4回と中途退学者は0人となっています。また、社会人としての時間感覚を意識させるため、遅刻数を減らすよう指導するでは、遅刻等に関する担任からのHR指導各学期5回以上と年間遅刻延べ数200回以下に対して、1学期末でHR指導が6回であり、9月末で遅刻延べ数が170回となっています。生徒の進路実現のため個別面談を行うことについては、各学期2回以上と進学・就職実現率100%に対して、1学期末で個別面談が3回、9月末での進学・就職実現率が59.8%となっています。
- ・ どうも、ありがとうございました。何か、御意見等はございませんか。今後、年度末に向けての数値目標達成に期待させていただきたいと思います。
- ・ ありがとうございました。年度末に向けて、頑張っていきたいと思います。

### (3) 教育課程など、その他に関する要望等について

- ・ ここでは、本校の教育活動をより一層よい方向に進めるために、「こんな授業をしたら、いいな」とか「こんなことしたら、いいな」などの御意見をお聞きしたいと思います。参考までに、制服とともに大きく変わります。平成30年度入学生の教育課程を御覧いただくために、本年度の学校案内を御用意いたしましたので、御覧ください。学習指導要領などのこともあり、実現にはハードルが高いこともあるかもしれませんが、ざっくばらんに、お話いただきたいと思います。それでは教務主任の方から、平成30年度入学生の教育課程について御説明させていただきます。
- ・ 平成25・26年度頃に、普通科の教養と発展のコースに差がないとの校内での意見がありました。また、情コミ科の専門科目を英語に読み替えられることもあり、平成27・28年度になって、新しい教育課程を検討することになりました。教養コースは就職で、発展コースは

進学ということになっていましたが、本校の多くの生徒は就職をする状況もありました。そこで、今回作成した平成30年入学生の教育課程を学校案内で御説明させていただきます。1学年は22番目までは普通科と情コミ科で同じ科目が開講されています。23番目から右側からは異なる科目となります。2学年は普通科の普通類型と福祉類型について、23番目から異なる科目となります。情コミ科のメディア類型とビジネス類型については、今とほとんど変わらないのですが、今回、専門科目が英語に読み替えができる分だけ減っています。3学年については、2学年に引き続きですので、普通科の類型には変わりはありませんが、普通科、情コミ科で共通して選択できる選択Aという科目群があり、これが大きな特色になっています。また、従来からの科目群を整理させてもらいました。他に普通類型では選択Bと選択Cがあります。福祉類型は従来からの福祉科目が中心となります。情コミ科は英語への読み換えで少し専門科目が減っています。それぞれの選択群は、学校案内の下の方に選択S、選択A、選択B、選択Cという形で表記していますので、御覧ください。選択Cの特徴としては、教養社会、教養科学という科目があることです。1・2学年で学習した内容をもう1度復習して、社会へ出てから役立つように勉強し直すことを考えています。

- ・ 昨年度の学校運営協議会で、「普通科の生徒にも、もう少し資格・検定を意識した科目を取らせられないか。」という御意見をいただきました。それを全面に出して専門科目を多く入れると、情コミ科との差がわかりずらくなります。学校として、一概に進めることはできないのですが、例えば2学年の選択Sでは数学研究、理科一般、英語研究という科目を設置して、これらの科目で学習した結果、その成果として検定や資格の取得に向けた受検が可能になるような内容にしてあります。昨年度いただいた学校運営協議会の御意見を踏まえて、今回、教育課程を改善した点であることを申し添えさせていただきます。
- ・ この件について、御意見等はございませんか。
- ・ 基本的に大きく変わる点はそんなにはないのですか。
- ・ 教養コースと発展コースをなくした点、普通科、情コミ科で同じ科目を選択できる選択A、資格を取れる科目を3学年から2学年へ変更、教養社会や教養科学など、実生活に役立つような選択を設けるなどの内容を考えて作成しました。
- ・ かなり大きな変更としては、本日の新聞にも掲載してあったのですが、3学年の19・20番目の選択Aを見ていただきたいのですが、普通科も情コミ科も同じ選択Aから選択できるということで、総合選択制という仕組みです。
- ・ 来年度になるのが楽しみです。今の1学年・2学年はどうなるのですか。
- ・ 教育課程は入学する前に発表しておいて、それを御覧いただいて入学していただくので、その時点で中学生と高校との約束になります。今の1学年・2学年の教育課程を在学中に変更することは原則としてできません。
- ・ 教育課程については、発展コースと教養コースを解消して、選択科目で対応するという考え方ですか。先程、社会へ出てから役立つ知識ということでしたが、私も戸籍抄本と戸籍謄本の違いがわからないのですが、そういうことも教えてもらったらと思いますので、よろしく願いします。
- ・ 協議事項のその他ですが、特になければ、これで協議事項は終わりにさせていただきます。

事務局、連絡事項について、お願いします。

(4) その他

- ・ 1 学年は総合的な学習の時間が 1 時間あり、6 講座の学習を行います。その中の 1 つの講座で、「S S T」の講座の開設を検討してもらっており、来年度の 1 学年から実施予定になっています。すでにお試し授業が 2 学期に行われています。教育課程表には見えないところでも大きな変更があります。

4 連絡事項

(1) 次回の日程について

- ・ 次回は、11月11日（土）が、本校の学校文化祭の地域限定公開日となっていますので、その日程に合わせて、本校の文化祭を委員の皆さんの御都合に合わせて御覧いただき、終了後 14：30 からの予定で、どうかと考えています。委員の皆さまには、先程のアンケート用紙が入っている封筒の中に、依頼文と出欠表を入れさせていただきました。よろしく願いいたします。
- ・ 昨年度、御要望がありました文化祭における模擬店のチケットについては、本年度は各クラス等の準備の都合で、先行予約をお受けすることができません。当日、外部入場者のみチケット販売がありますので、当日よろしく願いします。
- ・ 過日の会議で、第 6 回から第 7 回までの期間が開き過ぎるとの御意見をいただきました。事務局の方で検討させていただき、過日、家庭科主任から藤田委員に、「こんにやく講習会」の今年度の実施をお願いさせていただきましたので、この「こんにやく講習会」を委員の皆さまに御見学していただき、その後、地域交流部会として会議をさせていただきたいと考えています。詳細な内容等は、後日、郵送させていただきますので、よろしく願いします。
- ・ 最後になりましたが、来週末ですが 10 月 28 日（土）と 29 日（日）に、三重県総合文化センターで開催されます「三重県高等学校産業教育フェア」で、昨年度に引き続き、オリジナル開発商品「白山フランク」が販売されますので、ここで、紹介させていただきます。もしよろしければ、総合文化センターの方へお越しいただきたいと思います。白山フランクをお買い求めの場合は、品切れがない土曜日の方がよいかと思います。それから、本日の中日新聞の朝刊に、カラーで枠がピンク色で目立つ新制服の記事を取り上げていただきました。以上、連絡させていただきます。

(2) その他・・・ 特になし